

●行政情報●

令和4でん粉年度の「でん粉の需給見通し」

農林水産省は令和5年2月10日、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）に基づいて、令和4でん粉年度の「でん粉の需給見通し」を公表した。

「見通し」は、製造事業者、実需者において、今後の経営及び国内産いもでん粉調達計画の参考とするよう示している。

見通しでは、令和4でん粉年度の需要量

は近年の需要動向等を総合的に勘案して2,494千トン（対前年度比+3.8%）、うち糖化製品は1,675千トン（+3.9%）、化工でん粉が275千トン（+2.2%）、その他（製紙用、ビール用、片栗粉用など）は544千トン（+4.4%）と見込んでいる。

国内産いもでん粉に係る需給見通しは、下表のとおりとなっている。

○ R4でん粉年度における国内産いもでん粉需給の見通し

（単位：千トン）

			R4年10月～R5年3月（見込み）			R5年4月～9月（見通し）			R4でん粉年度計		
			かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	上期計	かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	下期計	かんしょでん粉	ばれいしょでん粉	計
需 要	交付金 対象用途	糖化製品	5	13	18	3	10	12	7	23	30
		化工でん粉	1	17	18	0	12	13	1	29	31
		その他	5	23	27	3	24	27	7	47	54
		小計	10	53	63	6	46	52	16	99	115
	その他の用途		0	28	28	0	37	37	0	65	65
	計		10	81	92	6	83	89	16	164	180
供 給	前期からの繰越		4	17	21	8	89	97	4	17	21
	生産量		15	153	168	0	0	0	15	153	168
	計		19	170	188	8	89	97	19	170	188
次期への繰越			8	89	97	3	6	8	3	6	8

（注）1. ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2. 交付金対象用途のその他は、ばれいしょでん粉については、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用餌料など、かんしょでん粉については、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。
交付金対象用途外のその他の用途は、片栗粉などである。

（参考）でん粉の需給見通し

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/kansho/denpun.html>